

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

本学の教員養成に対する理念は、次代を担う子どもの育成をめぐる今日的課題に対応し、子どもの保育・教育に地道に取り組み、一人ひとりの子どもの幸せとこれからの社会の基盤づくりに貢献していくことができる優れた教員を養成することにある。

今日の子どもの育成をめぐる諸問題の解決のためには、幅広い教養を身に付け、教育的愛情を持ち、教育学、保育学をはじめ、心理学、社会学、社会福祉学、健康科学など多面的・実践的なアプローチができる資質能力を備えた人材の育成が不可欠である。本学では、教員をめざす学生が、夢と希望を持って実力を養うための学びを重ねていけるようカリキュラムを構成した。

近年、「小一プロブレム」など幼稚園と小学校の接続における問題点が指摘されている。本学では幼稚園教育の専門家に求められる知識と技能、並びに小学校教育の専門家に求められる知識と技能を兼ね備えた人材を育成することをめざしてカリキュラムを構成し、幼稚園教諭一種免許と小学校教諭一種免許の両方の免許を取得可能にすることとした。

幼児教育分野では、低年齢児就園や特色ある保育の必要性を踏まえた質の高い幼児教育へのニーズと幼稚園教諭（一種）養成への期待が高まっている。卒業後は幼稚園、認定こども園などにおいて、保育・幼児教育に従事するほか、地域の子育て家庭に対する支援を行うなど、幼稚園教諭・保育教諭としての活躍が期待される。

小学校教育分野では、富山県内において、やさしい心とたくましいからだ、確かな学力を身につけた児童の教育の推進を熱望する声が高い。卒業後は小学校において初等教育に従事し、未来を担う児童の生きる力と確かな基礎学力の向上に努める小学校教諭としての活躍が、期待される。

家庭、地域における児童健全育成分野では、少子高齢化が進展する富山において、育児不安・児童虐待、不登校・引きこもりなど子どもの家庭養育と健全な育成をめぐるニーズが増大している。卒業後は幼稚園・認定こども園や小学校などを足場にしながら、地域の家庭教育支援ボランティアや児童委員などと連携・協働しながら、子どもを育成していく専門家としての役割も期待できる。さらには、これらの分野を相互に関連づけた幅広い学習を積極的に奨励し、保育・教育の一体化や連携をめぐる今日的課題に対応した専門職として、また児童虐待や子育て支援など子どもの育成環境づくりにも対応できる保育・教育の専門職として、地域に貢献できる人材育成をめざしていく。